

職務調査システムの全体像

■職務調査システムの特徴・ツール及びステップは次のとおりです。

【職務調査システムの特徴】

- ①職務洗い出しを体系的に行うことができる。
- ②洗い出した職務を分類法という手法で容易に難易度区分できる。
- ③職務基準と能力要件というデュアル表示しているため役割期待の理解が容易である。
- ④職能要件書を人事評価に落とし込むツールを用意しているため評価基準として運用しやすい。

【職務調査の主なツール】

- ①職務調査の手引き
- ②課業の洗い出し表
- ③課業の難易度分類表
- ④職能要件書シート
- ⑤難易度調整会議用各種シート
- ⑥人事評価に落とし込む各種シート類

◆実施するステップ(ステップ1～3)

◆ステップ1 職務調査の準備

1-①職務調査方法の提示

1-②職務・職位・課業・課業
内容・作業の明確化

1-③職務調査説明会の開催

◆ステップ2 職務調査の実施及び修正 ヒアリングの実施

2-①職務調査の実施

2-②修正ヒアリングの実施

2-③職種別難易度の調整

◆ステップ3 調査原案の最終化

3-①難易度調整会議の開催

3-②職能要件書として最終化

3-③人事評価に落とし込む
ツールによるトライアル

職務の難易度分類基準表

対応等級	業務レベル	内 容	知識・技能	判 断	精神的負荷	企画・折衝	責 任
○等級	E 決断、統率 企画、調整 業務	・会社の経営方針、部門方針に基づき、担当部門の運営にかかわる複雑、高度な企画、調整、統率を行う業務	・高度な体系的、理論的な専門知識 ・高度な管理知識	・企画力、分析力、応用力等をもって、複雑で高度な諸問題について、総合的な判断および決断を必要とする。	・仕事の内容が複雑多岐で、関連する事項が多く、業務遂行のため、強度の緊張が求められる。あるいはその仕事を監督するための複雑な注意力を必要とする。	・部門方針に基づく企画、立案 ・重要事項に関する高度の折衝、調整	・全社的な方針に基づく高度な専門的業務で、誤りは他の部門の業務遂行に支障をきたし、金銭的損失、モラル低下、対外信用低下等、損害は大きい。
○等級							
○等級	D 企画、調整 管理業務	・会社の経営方針、部門方針に基づき、担当範囲の運営にかかわる複雑、困難な企画、調整、管理を行う業務	・広範囲、高度な実務知識・技能、専門知識 ・基礎的な管理知識	・企画力、分析力、応用力等をもって、複雑で高度な判断を必要とする。	・瞬時の対応を迫られることもあるので、常に緊張を必要とする仕事。	作成 ・担当範囲の目標達成のため、かなり広い範囲での社内外関係先との折衝、調整	への影響も大きい。機密性を必要とすることが多い。
○等級							
○等級	C 高度熟練 判断、指導 監督業務	・上級者の包括的な指示のもとで、高度な知識、かなりの専門知識、豊富な実務経験に基づいて行う、複雑な判断、指導、監督業務	・担当業務、関連業務についての高度な実務知識・技能、専門知識	・きめられた方針に基づき、自己の裁量によって業務を行うことが多く、広い範囲の応用的判断を必要とする。	・常時慎重な注意が求められる。仕事の急所については、強度の緊張を必要とする。	・担当範囲の方針に基づく素案作成 ・担当業務の目標達成のため、広い範囲での社外関係先との折衝	・失敗をすると、その誤りは他部門の訂正も必要とし、やや影響が大きい。業務によっては、機密性も必要とする。
○等級							
○等級							

洗い出した職務を7つの分類要素に基づいて設定された分類基準に則って該当する等級に格付けていきます。

職能要件書の構成(職務基準+能力要件)

業務	課業	課業内容	習熟能力			習得能力 (知識・技能・技術)	具体的手段・方法 (図書・研修・資格・免許等)	自己啓発課題	
			援助	独力	完全				遂行レベル
新規作成	戸棚・引き出し・椅子・脚立などの作成	1. 伝票確認 2. 作製図作成 3. 材料確認 4. 材料加工 5. 組み立て		○		1. 新規依頼伝票の内容確認ができる。 2. 依頼品を作製図に移行できる。 3. 依頼品に最適な材料の選定ができる。 4. 作製図通りに材料に作図できる。 5. ホゾ穴をあけることができる。 6. ホゾ切りができる。 7. 溝きりができる。 8. 自動カンナ等を使用して材料を作図通りに切断、切削できる。 9. 材料をよく組み立てること	1. 作製図に関する知識、技能 2. 材料に関する知識 3. ホゾ切り、ホゾ穴など、加工に関する知識、技術 4. 組み立ての知識、技術 5. 自動カンナ、のみ、のこぎり、溝きり等の道具に関する知識、技能	1. ○○○ 2. □□□ 3. △△△	1. ○○ 2. □□ 3. △△
修理	錠の修理	1. 伝票確認 2. 破損部分の確認 3. 修理 4. 取り付け				1. 錠のしくみに関する知識 2. 部品作製の技術 3. 錠の分解、組み立て技術	1. ○○○ 2. □□□ 3. △△△	1. ○○ 2. □□ 3. △△	

職務基準と能力要件を並列して記載しているため役割等級の役割期待を容易に理解することができます。

問い合わせ先
 株式会社 日本総合研究所
 リサーチ・コンサルティング部門
 シニアマネジャー 加子栄一
 E-mail: rcdweb@ml.jri.co.jp